令和６年度　基本評価調書	所管部局	経済部	所管課	スタートアップ推進室

施策名	スタートアップ創出・集積の促進	施策コード	0515
政策の柱	産業活性化・業種横断分野	政策体系コード	1(6)A
関連重点戦略計画等	知事の基本政策、北海道Society5.0推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画	事務事業数	3
特定分野別計画			
SDGs		総合判定	概ね順調

予算額（千円）	R6	46,388千円	R5	50,000千円	R4	-

施策目標	スタートアップの創出・集積の促進に向けたスタートアップ・エコシステムの拡大・強化のため、伴走支援による起業家の育成や、ビジネス環境の国内外へのPRなどに取り組む。
現状と課題	（スタートアップの創出） 道内では、ITやバイオ産業を中心としたスタートアップが札幌市に集中している一方、地域では、手本となる身近な先輩起業家との接点が少ないことなどからスタートアップの創出が進んでいないため、革新的な技術やアイデアにより地域課題の解決に大きな役割を担うスタートアップを各地域から創出することが必要。 （スタートアップの集積） スタートアップ・エコシステムの拡大・強化のためには、道内への集積を促進することが重要であることから、地域課題の解決に向けたスタートアップと道内自治体や事業者との協業や本道のビジネス環境の優位性等について国内外へPRを行うことが必要。

〈主な取組〉

今年度の取組	（スタートアップの創出） ・起業に関心のある学生等を対象とした起業家育成塾の開催 ・起業に関心のある社会人等を対象としたビジネスアイデアを創出するワークショップの開催 ・事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援の実施 （スタートアップの集積） ・オープンイノベーションプログラム 道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援 ・スタートアップ・ビザ取得者への定着支援 海外起業家を対象とした申請前から入国後の定着までの支援（通年） ・札幌・北海道スタートアップ・エコシステムのPR 道外の投資家等を集めたPRイベントの開催
実績と成果	（スタートアップの創出） ・起業家育成塾（課題の発見やビジネス化の方法を学習）：オンライン・6回・延べ72名 ・アイデア創出支援（ビジネスアイデアを一から創出するワークショップ）：道内4カ所・延べ140名 ・事業開発支援（専門家による伴走支援）：6組7名 （スタートアップの集積） ・Local Innovation Challenge Hokkaido（道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援）：12件 ・外国人の起業促進に向け、スタートアップビザの取得支援や個別面談による伴走支援：支援者数18名 ・札幌・北海道スタートアップエコシステム（ビジネス環境等）のPRイベントの開催：1/29～2/5（参加者数＝延べ1,000名以上、参加国＝30カ国以上）

参考HP①	北海道のスタートアップ支援	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sus/startup.html
参考HP②	スタートアップ北海道実行委員会ホームページ	https://startuphokkaido.com/
参考HP③		

令和6年度 基本評価調書	【1(6)A_0515】スタートアップ創出・集積の促進

〈**指標分析**〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	社	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
北海道におけるスタートアップの創出・集積数		目標値	－	－	－	500	－	－
		実績値	－	－	124			

設定理由	本指標は、スタートアップの創出・集積企業数の累計値であり、北海道におけるスタートアップエコシステムの整備状況や成長度合いを図る指標として設定。 (R5年6月にスタートアップ推進室を組成し取組を開始。R5年度の実績を踏まえR6年度からの目標値を設定)

指標公表時期	調査実施年の翌年2月公表	出典(根拠計画等)	STARTUP HOKKAIDO実行委員会調べ

分析(主な取組と成果)

目標値の設定がないため、成果指標の判定はできないが、スタートアップの創出・集積に向け、起業家の育成・伴走支援・誘致・定着の促進などに取り組みを行い、累計124社のスタートアップの創出・集積を実現した。

指標名②			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	

指標公表時期		出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【1(6)A_0515】スタートアップ創出・集積の促進

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 地域におけるスタートアップの創出・集積は一定程度見られるが、札幌市へ集中していることから、市町村や関係機関と連携し進める必要がある。
	(取組と成果) スタートアップの集積を図るため、地域課題の解決に資するスタートアップと市町村等とのマッチングを行い、実証事業の支援を実施しているほか、地域からのスタートアップ創出を図るため、ビジネスアイデアを一から創出するワークショップを道内4カ所で開催。

緊急性 優先性	(課題) 各行政(道・札幌市・北海道産業局)・団体の支援リソースの分散。
	(取組と成果) R5年9月に道や札幌市、北海道経済産業局などともに、「スタートアップ北海道」実行委員会を立ち上げ、オール北海道で支援する体制を整備し、週次での定例会議等の開催を通じて、目標や課題等の共有を図り、一体的に取組を推進。

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
企業立地件数	87件(令和3年度)	98件(令和4年度)	103件(令和5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
多様化する企業のリスク分散の視点や立地の動きを的確に捉え、首都圏等との同時被災リスクの低さや豊富な再生可能エネルギーといった本道の優位性を活かした企業誘致を進めていく必要がある。

(状況) 令和2年度は感染症等の影響により62件に減少したが、令和3年度以降は回復が見られるところであり、GXやDXなど社会経済情勢が大きく変化する中、ラピダス社の立地を契機とした半導体関連の工場立地の動きが見られるほか、再エネ電力100%の国内最大級のデータセンターの立地などの動きがあった。 [R5実績:道外進出企業32社(製造業10社、産業支援サービス業15社、その他7社)、主な業種:産業支援サービス業28社、食品工業28社、製造業13件、加工組立工業10社]	a

その他統計数値等②	最新年度
「北海道スタートアップスタジオ」の延べ参加者数	延べ219名(令和5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
道内では、ITやバイオ産業を中心としたスタートアップが札幌市に集中している一方、地域では、手本となる身近な先輩起業家との接点が少ないことなどからスタートアップの創出が進んでいないため、革新的な技術やアイデアにより地域課題の解決に大きな役割を担うスタートアップを各地域から創出することが必要。

(状況) 道内からのスタートアップの創出を図るため、以下のプログラムを実施。 ・起業家育成塾(課題の発見やビジネス化の方法を学習):オンライン・6回・延べ72名(当初予定:5回) ・アイデア創出支援(ビジネスアイデアを一から創出するワークショップ):道内4カ所・延べ140名 ・事業開発支援(専門家による伴走支援):7名(当初予定:5名程度)	a

その他統計数値等③	最新年度
北海道におけるスタートアップの創出・集積数	124社(令和5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
【スタートアップの創出】
道内では、ITやバイオ産業を中心としたスタートアップが札幌市に集中している一方、地域では、手本となる身近な先輩起業家との接点が少ないことなどからスタートアップの創出が進んでいないため、革新的な技術やアイデアにより地域課題の解決に大きな役割を担うスタートアップを各地域から創出することが必要。
【スタートアップの集積】
スタートアップ・エコシステムの拡大・強化のためには、道内への集積を促進することが重要であることから、地域課題の解決に向けたスタートアップと道内自治体や事業者との協業や本道のビジネス環境の優位性等について国内外へPRを行うことが必要。

(状況) スタートアップの創出・集積に向け、起業家の育成・伴走支援・誘致・定着の促進などに取り組みを行い、124社のスタートアップの創出・集積を実現した。	b

令和6年度 基本評価調書	【1(6)A_0515】スタートアップ創出・集積の促進

〈総合判定〉

指標判定	－	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

（該当なし）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	R5年度の目標値の設定がないため達成率の算出はできず指標判定ができないが、引き続き、スタートアップの創出・集積に向けて、伴走支援による起業家の育成や、ビジネス環境の国内外へのPRなどに取り組む。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	引き続き、スタートアップの創出・集積に向けて、伴走支援による起業家の育成や、ビジネス環境の国内外へのPRなどに取り組む。
	②	
	③	

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	スタートアップ創出・集積の促進	施策コード	0515

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制			フルコスト（千円）	一次政策評価		二次政策評価意見	ACTION　結果への対応（令和6年度）	
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性		次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0585		一般	スタートアップ創出促進事業	スタートアップの創出に向け、起業家育成や伴走支援などに取り組む、	スタートアップ推進室		17,630	8,815	1.3	0.0	1.3	28,043	①	改善（取組分析）		改善	
0586		一般	スタートアップ集積促進事業	スタートアップの集積に向け、道内自治体等とSUのマッチングや札幌・北海道スタートアップ・エコシステムのPRなどに取り組む	スタートアップ推進室		28,758	14,379	1.3	0.0	1.3	39,171	①	改善（取組分析）		改善	
0587		事務	スタートアップ関連総合調整業務	スタートアップ関連業務について、関係部局と協議・調整を図る。	スタートアップ推進室				0.3	0.0	0.3	2,403					
計						0	46,388	23,194	2.9	0.0	2.9						